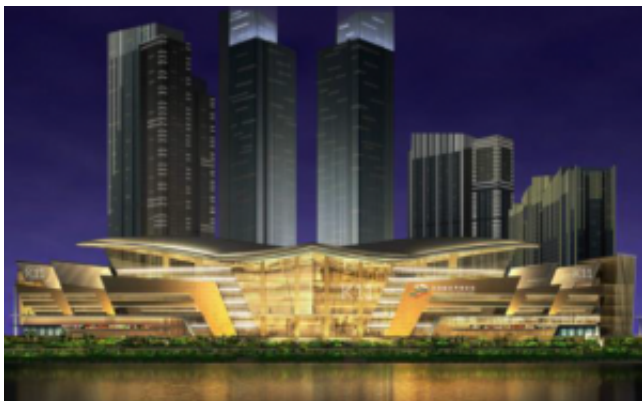


JLL、中国・瀋陽の大規模モールで日系ブランド誘致を受託

Edited By LogisticsToday On 2014/04/24



JLL（ジョーンズラングラサール）は24日、香港の大手デベロッパー「新世界発展」が中国・瀋陽市で開発する最新の大規模商業施設「瀋陽K11アートモール」（2016年1月開業）で、日系ブランドのテナント誘致業務を受託したと発表した。モール内のさまざまなコンセプト区画を対象としており、ほぼすべての業種・業態の出店誘致を担う。

中国では日本製品や日本食の安全性や品質、デザインなどに対する消費者からの評価が高まっており、「メイド・イン・ジャパン」の人気の増していることから、商業施設で日系ブランドの需要も増加傾向にある。

新世界グループが手掛ける瀋陽K11アートモールは、同グループが開発する大型複合施設「瀋陽ニューワールドセンター」内にあり、オフィス、ホテル、サービスアパート、瀋陽ニューワールドエキスポ（カンファレンスホール）などが隣接。芸術とショッピングモールを融合したハイエンドな商業施設で、瀋陽市最大級の面積となる。

■瀋陽K11アートモール

所在地：中国遼寧省瀋陽市和平区青年大通り、GoldenCorridorの正面

延床面積：25万9000平方メートル

階数：地上5階、地下1階

開業：2016年1月

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/103251>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.